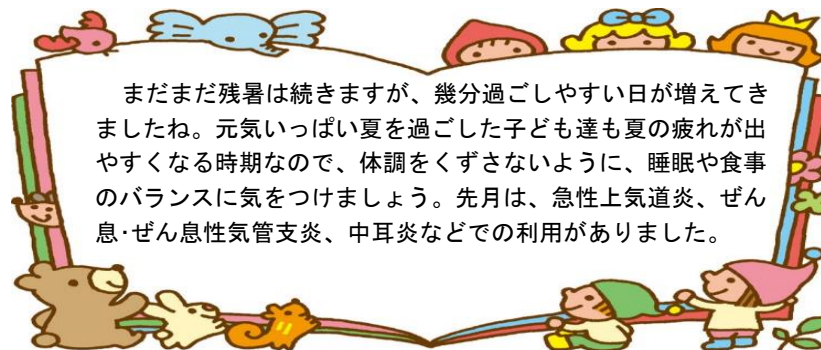




たんぽぽだより



令和5年9月号 No.98
砂川市病児・病後児保育施設
Tel. 0125-54-2278

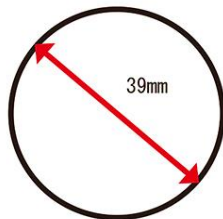


まだまだ残暑は続きますが、幾分過ごしやすい日が増えてきましたね。元気いっぱい夏を過ごした子ども達も夏の疲れが出やすくなる時期なので、体調をくずさないように、睡眠や食事のバランスに気をつけましょう。先月は、急性上気道炎、ぜん息・ぜん息性気管支炎、中耳炎などでの利用がありました。

家の中の事故を防ぎましょう

子どもにとって安心して過ごせる家の中が、実は事故の危険の高い場所だということをご存知でしょうか？ **0歳～6歳の子どもの事故の約40%は、家の中で起こっています。**

家の中で起こる事故はさまざまですが、特に命にかかわるのが窒息です。0歳児が圧倒的に多いものの、1歳児、2歳児でもゼロではありません。家の中を安全・安心な場所にするために、もう一度チェックしてみましょう。



小さいものはしっかり管理

3歳の子どもが口を開けたときの最大口径は約39mm、のどの奥までは約51mmあります。これより小さなものは、子どもの手の届かない所に保管しましょう。ボタン電池、ナッツ類、たばこ、薬など、身近なものでも飲み込むと危険なものがたくさんあります。

リビングなど



ソファやベビーベッドから落ちたり、たばこを飲み込んだりといった事故がよくあります。

浴室



残り湯に落ちる、入浴中にちょっと目を離したすきにおぼれるなど、水の事故の危険があります。

キッチン



炊飯器や電気ポットなど、調理器具によるやけどが多い場所。

ベランダ



台などによって手すりを超える事故が、3歳以降急増します。危険なものがないかチェックしましょう。

